

健康ステーション

健康増進課 TEL 786-1855 FAX 786-0096

種 別	と き	ところ	受付時間	内 容
4 か月児健診	8月7日(金)	保健センター	13:15~14:10	診察、身体計測、育児相談、離乳食相談 持ち物 母子健康手帳、健診票、バスタオル
7 か月児・ 10 か月児相談	〈高崎線東側〉 8月4日(火) 9月1日(火)	総合福祉センター 2階児童館	9:30~10:30	保健師による身体観察、身体計測 ※対象児は、7 か月児と10 か月児です。 高崎線を挟んで、東側は総合福祉センター、西側は保健センターで行います。 その他、電話にてご相談ください。 持ち物 母子健康手帳、問診票、バスタオル
	〈高崎線西側〉 8月10日(月) 9月14日(月)	保健センター		
1歳6 か月児健診 (個別通知あり)	8月26日(水)	総合福祉センター 2階児童館	13:15~14:10	内科・歯科診察、歯科指導、身体計測、育児・発達・ 幼児食相談 持ち物 母子健康手帳、問診票、バスタオル
3歳3 か月児健診 (個別通知あり)	8月21日(金)	保健センター	13:15~14:10	内科・歯科診察、目の検査(屈折検査)、身体計測、 育児・発達・幼児食相談、検尿 持ち物 母子健康手帳、問診票
フッ素塗布 (※有料)	8月24日(月)		1回目 13:30~14:00	対象 1歳~就学前まで、6か月ごとに塗布します。 持ち物 母子健康手帳、幼児用歯ブラシ、タオル 費用 1,430円(税込)(現金のみ) 問い合わせ ▶口腔保健センター(北足立歯科医師会) ☎048-596-0275
	10月5日(月)		2回目以降 14:00~14:30	

種 別	と き	ところ	予約締切	対象 および 内容	定員
マタニティ クラス 《要予約》*1	10月8日(木) 14:00~16:00	保健センター	10月5日(月)まで	対象 妊娠16~32週の妊婦 プレママカフェ：交流会、妊娠中の栄養 のとり方などの話 持ち物 母子健康手帳、筆記用具	8人
	10月26日(月) 13:30~16:00		10月21日(火)まで	対象 妊娠20~34週の妊婦 出産準備クラス：妊娠経過から出産の話、 安産体操、交流会 持ち物 母子健康手帳、筆記用具、飲み物	10人
パパママ体験 クラス 《要予約》*1	9月5日(土) 10:00~12:00		9月2日(水)まで	対象 妊娠24~35週の初めてお産をする妊婦と夫 沐浴(お風呂)の実習、新生児の保育、夫の妊 婦体験 持ち物 母子健康手帳、筆記用具、手拭き タオル	10組
	10月3日(土) 10:00~12:00		9月30日(水)まで		
共育(トモイク) クラス 《要予約》*1	1月29日(金) 10:00~14:30		1月26日(火)まで	対象 育児休暇取得を予定または取得中の夫、 これから父親になる予定の人 午前：簡単レシピ料理教室 午後：赤ちゃんのお世話の仕方 持ち物 筆記用具、手拭きタオル、エプロン、 三角巾、ふきん、マスク 費用 500円(食材費、保険代)	12人

(注意)・母子健康相談については、託児はありません。
・講義内容についての動画・写真撮影は、ご遠慮ください。

*1) 定員になり次第締め切りです。

種 別	と き	ところ	受付時間	対象 および 内容
お立ち寄り 健康相談 	9月15日(火)	保健センター	9:30~11:00	対象 成人 内容 血圧測定、生活習慣病予防・バラ ンスの良い食事のとり方などの相談、コバトン ALKOOマイレージ登録会 ※気軽にお立ち寄りください！ ※奇数月のみの開催になります。
家族のつどい	8月27日(木)		13:30~16:00	対象 統合失調症の疾患を持つ患者の家族 内容 統合失調症の疾患を持つ患者の家族が悩みを 語り合い、気持ちを分かち合う会です。

※保健センターの駐車場は数に限りがありますので、ご了承ください。

「集団がん検診」追加申し込みのお知らせ

詳しくは☎健康増進課 ☎786-1855

集団がん検診の受付を6月に行いましたが、定員に若干の余裕があるため、追加申し込みを受付けます。子宮がん検診と大腸がん検診は、医療機関で個別検診の受診も可能です。

※子宮・乳がん検診の集団検診は12月にも行います。(広報おけがわ11月号に掲載予定)



詳しくは市ホームページへ▲

検診名	内容	費用	対象者	検診日・会場	募集人数
子宮がん 	視診・内診 頸部細胞診	800円	20歳以上の女性 (2年に1回)	9月 8日(火) 坂田コミュニティセンター 9月12日(土) 保健センター 9月26日(土) 保健センター	各30人程度
乳がん 	マンモグラフィ	800円	40歳以上の女性 (2年に1回)		
肺がん 	胸部レントゲン	300円	40歳以上	11月 6日(金) 坂田コミュニティセンター 11月12日(木) 保健センター 11月24日(火) 保健センター 11月27日(金) 保健センター	各50人程度
胃がん 	レントゲン撮影 (バリウム検査)	800円			
大腸がん 	便潜血検査 (2日法)	300円			

※対象年齢は令和9年3月31日現在の年齢です。

※検診日については、キャンセルなどの状況により、別日を案内する場合があります。

受付期間▶ 8月17日(月)から定員に達するまで

受付時間▶ 午前9時30分～11時30分

午後1時30分～3時30分

受付場所▶ 保健センター

持ち物▶ 筆記用具、自分のスケジュールを
確認できるもの

注 意 点▶ 受診券を即日発行しお渡しするため、電話・FAX・郵送・電子申請の受付はできません。
・代理人による申し込みも可能です。
・体調の悪い人は、来庁をご遠慮ください。

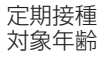
お子さんの日本脳炎2期・2種混合・HPV(子宮頸がん予防)ワクチン予防接種の接種時期にご注意ください

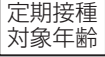
詳しくは☎健康増進課 ☎786-1855

予防接種のスケジュールは、感染症にかかりやすい年齢をもとに決められています。

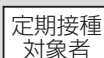
接種開始年齢が遅い予防接種もありますので、母子健康手帳をご確認のうえ、計画的な接種をご検討ください。

※接種には桶川市の予診票が必要です。予診票を紛失された方は、母子健康手帳を持参して健康増進課にお越しください。

日本脳炎2期  **9～12歳**
(13歳未満)

2種混合  **11～12歳**
(混合接種2期) (13歳未満)

HPV(子宮頸がん予防)ワクチン (定期接種対象ワクチン：9価HPV)



小学6年生～高校1年生相当の女子 (平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれ)

※HPV(子宮頸がん予防)ワクチン接種は合計2～3回で、完了するまでに約6か月の期間が必要です。特に、以下の方が接種開始を検討している場合、接種時期を今一度ご確認ください。

■高校1年生相当(平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれ) ■

既定の接種期間の終了時期(令和9年3月31日)が近いため、接種を希望する場合は9月までの開始を検討してください。

■14歳以下■

14歳以下で接種を開始すると2回で終了する接種が可能です。3回接種と比較して、有効性などが劣らないとされています。

健診機会がない 30代の市民のための健康診査

詳しくは☎健康増進課 ☎786-1855



対象者	勤務先などで健康診断の機会がない30代（昭和62年4月1日～平成9年3月31日生まれ）の市民 ※受診日に桶川市住民登録があること
健診日	9月2日(水)・3日(木)・17日(木)・25日(金)
予約時間	午前9時～、9時30分～、10時～、10時30分～、11時～
場 所	保健センター
内 容	●問診 ●身体測定（身長、体重、腹囲、BMI） ●尿検査（糖、たんぱく、潜血） <尿中ナトリウム/カリウム比測定（結果説明あり）> ●血圧測定 ●血液検査 <脂質検査（中性脂肪、LDLコレステロール、HDLコレステロール）、肝機能検査（AST、ALT、γ-GTP）、腎機能検査（血清クレアチニン、尿酸、e-GFR）、血糖検査（血糖、HbA1c）> ●診察
費 用	500円（現金のみ）※生活保護受給者は無料です。
定 員	300人【先着順】
申込方法	8月3日(月)午前9時から、電話で健康増進課へ ※希望の健診日と予約時間を決めて、メモを準備してからお電話ください。
その他のサービス	●子宮がん検診（2年に1回）▶希望者は、別途料金で子宮がん検診を同日に受診できます。【先着順】 ●健康チェック ▶希望者は、無料で高精度の体成分や血管年齢が測定できます。 ●託児 ▶お子様のお預かりが必要な方は、無料で託児を行います。 対象：生後6か月以上の未就学児【先着順】 ※親族などに預けられない場合のみ、利用できます。
持ち物	全員共通▶健診費用500円（現金のみ）、資格証明書など被保険者資格がわかるもの、鉛筆、消しゴム 生活保護受給者▶受給者証 子宮がん申込者▶検診費用800円（現金のみ）、生理用ナプキン、バスタオル、スカート又は脱ぎやすい服装 託児申込者▶お子様に必要なお出かけセット（オムツや飲み物）

※体調の悪い人は、来庁を遠慮してください。

※健診結果はご自宅へ郵送します。健診結果で、生活習慣の改善が必要となる場合は、保健師・栄養士によるフォローアップ事業を案内します。

蚊を介する感染症の予防対策

これから蚊が発生する季節を迎えます。蚊が媒介する感染症にかからないためには、一人一人の対策が重要です。蚊の活動が終息する10月下旬までを目安に行いましょう。

○感染症流行地域では蚊に刺されないようにしましょう。

渡航前に現地での流行状況を把握し、できるだけ肌の露出を避け、虫よけ剤を使用しましょう。

○住まいの周囲に、蚊を増やさないようにしましょう。

植木鉢の受け皿や空き缶に溜まった雨水など、日頃から周囲の水たまりを無くしましょう。

☎健康増進課 ☎786-1855

成人歯科健診実施医療機関病院名の変更

成人歯科健診及び妊婦歯科健診実施医療機関の「いのうえ歯科クリニック」が、「桶川セントルム歯科」に変更となりました。

☎健康増進課 ☎786-1855

【診療時間】 午前9時～午後5時

【受診方法】 最新情報は市ホームページで確認し、医療機関に電話のうえ来院ください。

(医療機関の変更や当直の専門医が限定される場合もあります)

月 日	医療機関名	診療科目	電 話
8月の休日当番医	2日	みやうち内科・消化器内科クリニック(伊奈町)	内/消内 783-3751
		埼玉県中央病院	内/外 776-0022
		さとうクリニック(北本市)	内/消内/小 048-590-5977
	9日	のぞみリハビリテーション病院(伊奈町)	内/神内/リハ 723-0855
		埼玉県中央病院	内/外 776-0022
		鴻巣北本内科クリニック(北本市)	内/腎内/糖尿病内 048-578-4663
	11日	桶川医療クリニック	内 786-5200
		伊奈病院(伊奈町)	内/外 721-3692
		ニッ家整形外科(北本市)	整/リハ/リウ/内 048-590-3344
	16日	埼玉県中央病院	内/外 776-0022
		伊奈病院(伊奈町)	内/外 721-3692
		林田内科医院(北本市)	内/小/循/消 048-592-7711
	23日	石くぼ医院(伊奈町)	内/消内 872-6121
		埼玉県中央病院	内/外 776-0022
		よしだ整形外科内科(北本市)	整/内/リハ/皮/リウ 048-590-5720
30日	30日	ファミリーファーストクリニック	内/循/外/皮 777-3000
		埼玉県中央病院	内/外 776-0022
		ひらお内科クリニック(北本市)	内/心療内 048-592-8861

月 日	薬局名	電 話
8月の市内休日当番薬局	2日	共創未来桶川薬局 777-3008
		川田薬局メイン店 787-6616
		薬局日本メディカル桶川店 856-9041
	9日	共創未来桶川薬局 777-3008
		川田薬局メイン店 787-6616
		薬局日本メディカル桶川店 856-9041
	11日	薬局日本メディカル桶川店 856-9041
		川田薬局メイン店 787-6616
		とまと薬局 788-4601
	16日	共創未来桶川薬局 777-3008
		川田薬局メイン店 787-6616
		薬局日本メディカル桶川店 856-9041
	23日	共創未来桶川薬局 777-3008
		川田薬局メイン店 787-6616
		薬局日本メディカル桶川店 856-9041
	30日	共創未来桶川薬局 777-3008
		川田薬局メイン店 787-6616
		薬局日本メディカル桶川店 856-9041

※営業時間は各店舗にお問い合わせください。

救急相談・医療機関案内 夜間可

☎ #7119

- ・急な病気やけがの際に医者に
行くべきか迷ったときの相談
- ・診療可能な医療機関の案内
(歯科・精神科を除く)

■相談時間：24時間・365日

ダイヤル回線・IP電話は

☎ 048-824-4199

埼玉県AI救急相談
(PC・スマートフォン) ➡



小児初期救急当番医

診療日時：月～土曜日

午後8時～10時(祝日・年末年始を除く)

<当番医の問合せ>

埼玉県中央広域消防本部

☎ 048-597-3301(24時間)

HPV(ヒトパピローマ(乳頭腫)ウイルス)は、性関係を持つことで感染して広がるウイルスです。たくさんの種類があり、多くは自然に排除されますが、一部が残りさまざまな病気の原因になります。例えば、若い女性に多い子宮頸がんは、日本では毎年約1万人が発症し、約2,900人が亡くなっています。また、肛門がんの患者数は年間約1,000人、その他にも陰茎がん、尖圭コンジローマ、中咽頭がんなどを発症することがあります。

尖圭コンジローマとは、性器やお尻などにギザギザしたいぼができる病気です。日本での発症数は年間約78,000人です。がんではありませんが、再発しやすく感染するため注意が必要です。

海外のデータでは、性経験のある男性の90%以上、女性の85%ほどが一生のうちにHPVに感染するといわれています。

男の子にもHPVワクチン

健康づくり 幸せづくり

ます。HPVのワクチンは男女ともに有効で、予防効果は97%と絶大です。過去、女性に對しての接種が勧められなかった時期がありましたが、2022年から定期接種が再開され、現在では副反応による大きな問題は起きていません。ワクチンの接種は、性交渉をもつ前の時期が効果的です。ワクチンの種類や年齢によって接種のタイミングや回数が異なり、小学6年生から高校1年生相当の期間に、一定の間隔をあけて同じワクチンを合計2～3回接種します。

女性は定期予防接種として無料で受けられます。男性は任意接種のため自費ですが、費用を助成する自治体も増えてきていますので、この機会に接種を検討してみたいかがでしょうか。

【一社】桶川北本伊奈地区医師会